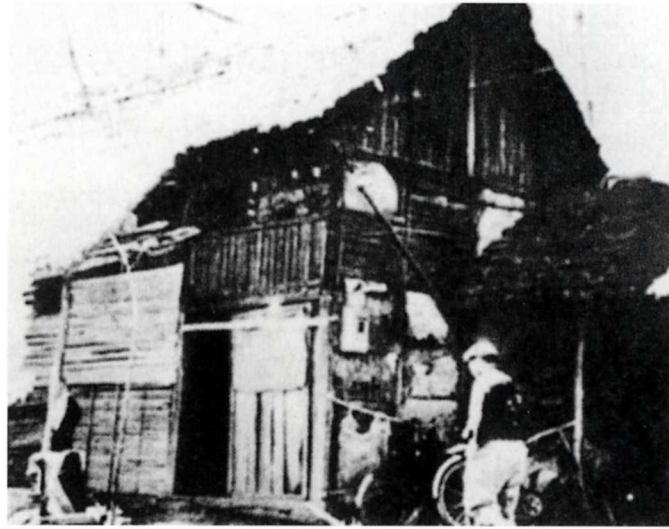




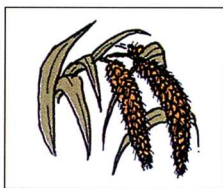
トラクター
などの機械
はなかった
から、たい
へんだった
でしょうね。



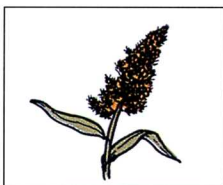
開こん当時の家

今のように機械はなく、^{どう}唐ぐわをふるって人の力だけで根気よく開こんを続けました。大きな松の根をほりおこすのも、たいへんな苦勞でした。ほりおこした根はたき木にしました。

生活のようす



あわ



ひえ

あわ・ひえ・大豆・そばなどを作りましたが、肥料がないのでまいた種の量ほどもとれないこともありました。食べ物は配給で、人々は、^{くうふく}空腹と^{えいよう しつちよう}栄養失調で苦勞しました。

住む家は、丸太でたて、まわりをささ竹でかこい、屋根は、ささ・かや・すぎ皮などでふいたそまつな小屋でした。